

周防大島町の話題



▲物資輸送の様子（トラック輸送・ドローン輸送）

ドローン実証事業

11月4日、山口県による「支援物資配送訓練」が実施され、「ドローンを活用した物資輸送に係る実証事業」が伊保田港周辺で行われました。

当日は、巨大地震が発生し本町の備蓄品が不足したことを探定して、県と町および物流事業者等が連携して、山口市から本町まで災害支援物資が配送されました。また、雨振地区が孤立したことも想定し、県から受領した支援物資を町と災害協定を締結する福山通運株式会社柳井営業所の協力により伊保田港まで配送し、伊保田港から雨振地区までの約2.3kmをドローンが空中輸送しました。輸送の速さに会場からは驚きの声が上がりいました。

中学校生徒の主張発表大会

11月5日、第75回目となる“社会を明るくする運動”大島郡中学校生徒の主張発表大会が橋総合センターにて開催されました。

この主張発表大会は昭和26年、大島保護区保護司会と郡内中学校の先生方との協力により「弁論大会」として発足し、現在に至る半世紀以上継承されており、発表者は千人を超える歴史のある大会です。

当日は、周防大島中学校と大島中学校の生徒5名が、犯罪のない明るい社会にするために、体験し感じたことや学んだこと、自分の考えを主張しました。



▲主張発表を行った生徒の皆さん（前列）

有害鳥獣対策セミナー

11月8日、久賀総合センターにて有害鳥獣対策セミナーが開催されました。

講師として、株式会社野生鳥獣対策連携センターの阿部豪氏を招いて、イノシシの生態や農作物被害対策、また近年増加している、ヌートリアや鳥類被害について講演いただきました。

当日は農家のを中心とした31名の参加があり、イノシシなどが防護柵を掻い潜って侵入し、農作物への被害が発生した時の実際の映像を見て、野生動物の生態を理解し、より効果的な対策方法を考え、また捕獲に関する基礎知識を学ぶなど、さまざまな面から有害鳥獣に対する知識を深める機会となりました。



▲講演会の様子